

ごあいさつ



平成10年9月22日、当社は創立60周年を迎えました。その記念事業のひとつとして、かねてより懸案であった社史を編纂、発刊することといたしました。

当社は、昭和13年、戦時体制のもと航空機の機体部材である金属マグネシウムの製造を目的に設立され、終戦後は、か性ソーダ、水素・塩素誘導品を中心とした基礎化学品メーカーに転換し、近年は、鉄系、フッ素系ファインケミカル事業の積極的展開により業容の拡大を図ってまいりました。

当社は設立以来、“創造的技術”を企業指針として取り組み、独自に開発した直接酸化法によるシクロヘキサノン、トリクロールエチレン・パークロールエチレンなどの塩素系溶剤、フッ酸電解によるフッ素、磁性合金粉「MAP」などの製造技術は、当社事業発展の礎となっています。

ひるがえって、この60年の歳月を振り返ってみますと、その道は決して平坦なものではなく、草創期の操業、戦後の軍需産業から民生産業への転換、水島コンビナートへの進出、か性ソーダの製法転換等、幾多もの厳しい試練に見舞われました。これらの難局を乗り越え今日の当社がありますのは、ひとえに株主、取引先、地域社会の関係各位の長年にわたる温かいご支援、そして諸先輩、従業員の努力の賜物であります。ここに心から厚く御礼申しあげる次第であります。

当社は、60周年を新たな躍進スタートの年として、成長性の高いエレクトロニクス、情報産業分野へ向けてフッ素系、鉄系ファインケミカル事業の拡大発展に全力を傾注し、皆様に信頼される関東電化を築きあげるよう努力しております。

この『六十年史』は、当社の技術経営史的系譜となっておりますが、これが当社経営の道標となり、来るべき21世紀において発展の糧となることを願い、ご関係の皆様方に本史をお贈りするものであります。

終わりに、社史編纂関係者およびご協力いただいた方々に深く感謝の意を表します。

平成12年2月

代表取締役社長 **水野正雄**